

もくじ

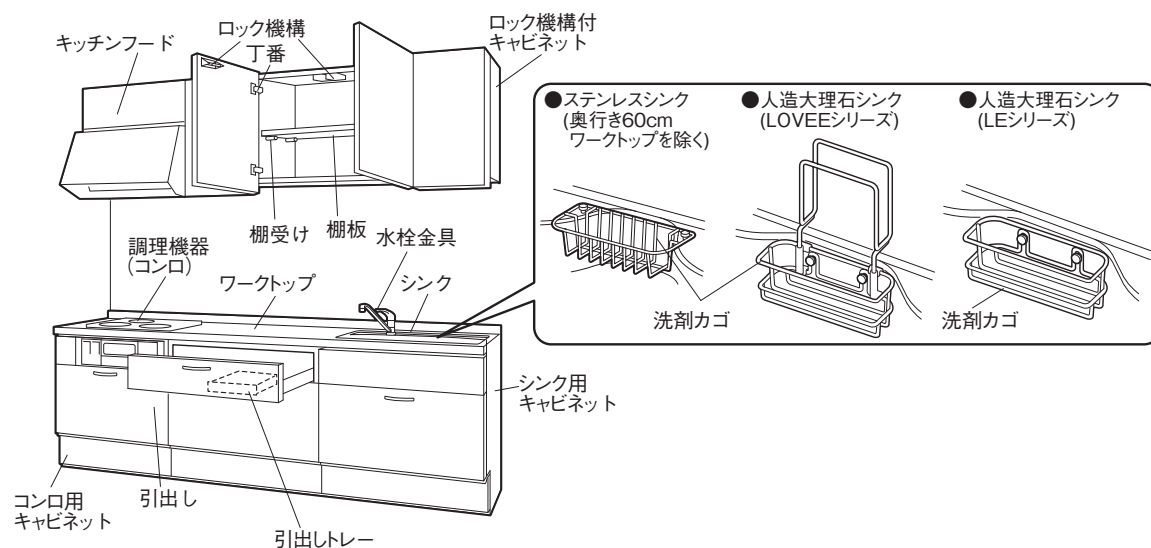
1. 各部の名称	
LOVEE・LE シリーズ (スライド収納タイプ)	2
LOVEE・LE シリーズ (開き扉タイプ)	2
LOVEE・LE シリーズ (ワイドカウンタータイプ)	2
2. 安全上のご注意	3～4
3. 取付・設置上のお願い	4
4. 工具及び付属部品の確認	5
5. 取付・設置手順	
設置前の準備と確認	6～7
商品の設置手順	7～16
ダンパーの取外し方法・取付方法	16
扉・引出しの調整方法	17～21
どこでもパレットについて	22～25
機器類の設置・ガス・水道・電気工事	26
6. 仕上げ	26～27
7. 点検	28
8. 完了後の処置	28
9. 残材処理	28

取付・設置をされる方へのお願い

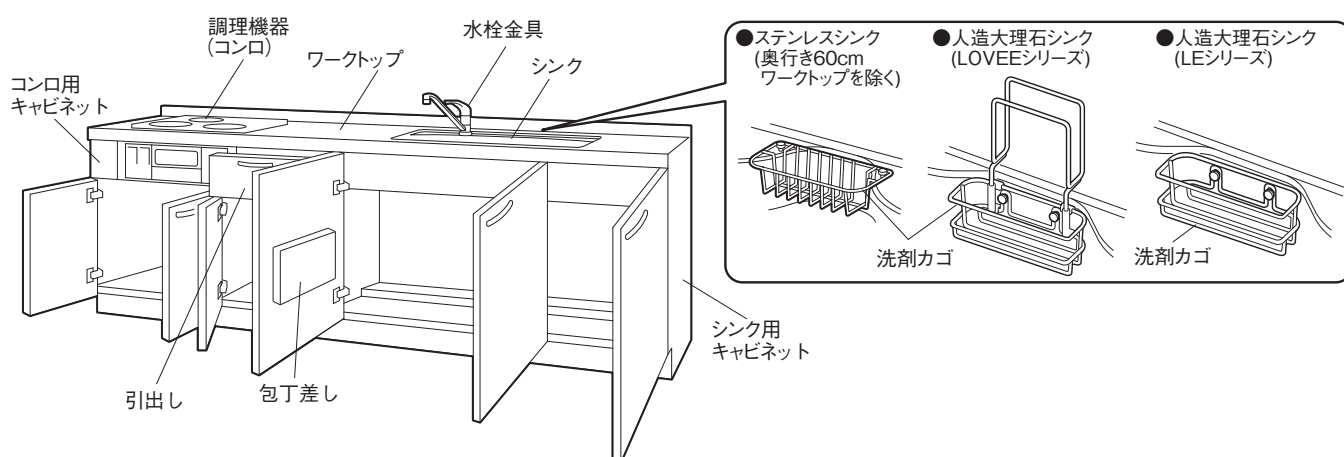
- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はベースキャビネットのものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 各部の名称

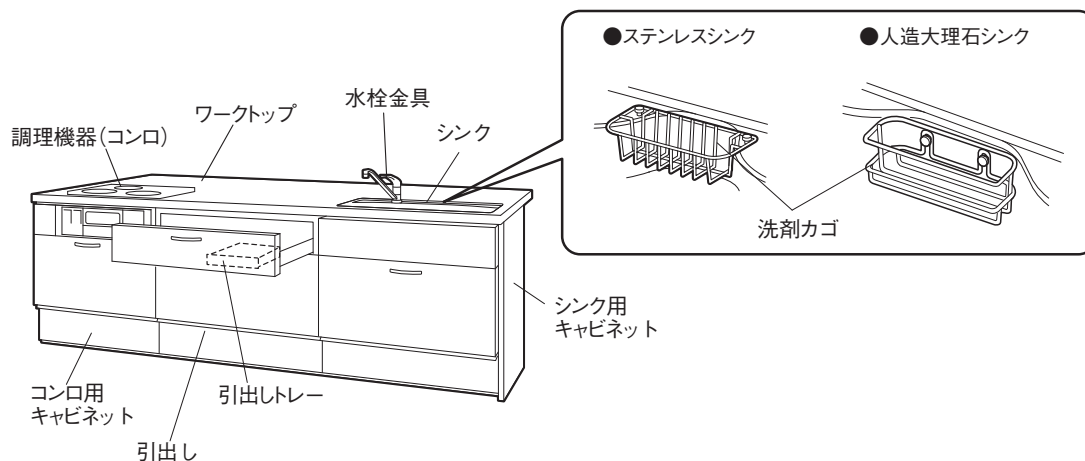
LOVEE・LE シリーズ (スライド収納タイプ)



LOVEE・LE シリーズ (開き扉タイプ)



LOVEE・LE シリーズ (ワイドカウンタータイプ)



2. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは必ず保護手袋をする。



切断面にさわると、けがをするおそれがあります。

組み込まれる電気機器、換気フード・水栓金具等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令、規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う。



火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。

製品は水平で平滑な床面壁面にしっかりと固定する。

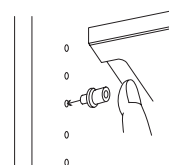


製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



注意

棚板を設置するときは、棚受を隙間のないように根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれ、収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

2. 安全上のご注意（続き）

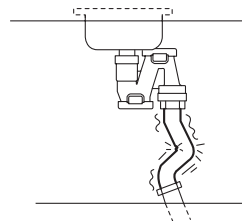
⚠ 注 意

防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実にを行う。



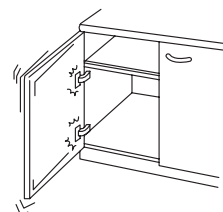
水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。

排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。

取付・設置完了後は扉のがたつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。



誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。

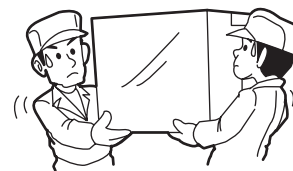


落下して、けがの原因になることがあります。

3. 取付・設置上のお願い

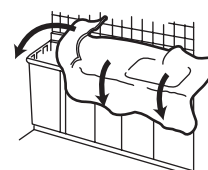
お 願 い

運搬中ぶつけないように注意してください。
また運搬は2人以上で行ってください。



製品および周辺設備が破損したり傷がつき、使用できなくなるおそれがあります。

取付・設置中はワークトップにおおいをし、製品を保護してください。



くぎやネジ類が落ちてきた場合、表面に傷がつくおそれがあります。

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。



その他の洗剤及びベンジン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の溶剤を使用すると、製品の変色、変質の原因になります。

4. 工具及び付属部品の確認

<取付・設置に必要な工具>

● プラスドライバー



● 充電ドライバー
(電気)



<付属部品>

● ワークトップに下記の部品が梱包されています。不足品のないことをご確認ください。

同梱先	付属部品	仕様	員数				LOVEEシリーズ				LEシリーズ		
			I 型	L 型	ワイド カウンター	I 型 奥行60cm	Q・T・U・N シンク	A・B シンク	E シンク	人造大理石 シンク	Q・T・U・N シンク	A・B シンク	人造大理石 シンク
ワーク トップ	ストレーナー部組品	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●
	縛付治具	—	1個	1個	1個	—	—	●	—	●	—	—	●
	排水ホース	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●
	防臭キャップ	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●
	ワークトップ固定ネジ	トラスタッピンネジ：φ3.5×13	35本	55本	70本	35本	●	●	●	●	●	●	●
	壁固定ネジ	サラモクツインネジ：φ3.5×32	—	—	2本	—	●	●	—	●	●	●	●
	キャビネット連結ネジ	コーススレッド：φ3.8×28	12本	12本	30本	12本	●	●	●	●	●	●	●
	連結ワッシャー	—	12個	12個	30個	12個	●	●	●	●	●	●	●
	化粧キャップ	φ16.5	12個	12個	30個	12個	●	●	●	●	●	●	●
	スぺーサー（レベル調整用）	ラワン合板：t2.5×30×50	5枚	5枚	10枚	5枚	●	●	●	●	●	●	●
	洗剤カゴ	—	1個	1個	1個	—	●	●	—	●	●	●	●
	まな板スタンド	—	1個	1個	—	—	—	—	—	●	—	—	—
	排水トラップ（Sトラップ）	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●
	エルボ管	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●
	壁固定金具	—	—	—	1個	—	●	●	—	●	●	●	●
	バックガードカバー	—	—	—	1個	—	—	—	●	—	—	—	—
	磁石	—	—	—	2個	—	—	—	●	—	—	—	—
接着剤セット	各色別	—	1式	—	—	人造大理石トップ L形専用付属部品 ※詳しくは人造大理石トップの取付・ 設置説明書を参照ください。							
接続金具セット	—	—	1式	—	—								
耐水ペーパー	#240, #400, #800	—	計3枚	—	—								
ナイロンタワシ	#1000 mφ	—	1枚	—	—								
接着剤用パレット	塗装合板：t2.5×150×150	—	1枚	—	—								
アルコール	50	—	1個	—	—								
マスキングテープ	9m	—	1個	—	—								
フット スペース 収納タイプ	キャビネット固定ネジ	コーススレッドφ3.8×38	—	—	—	—	シンクキャビ：4本 コンロキャビ：4本 調理キャビ：4本						
	連結ワッシャー	—	—	—	—	—	シンクキャビ：4個 コンロキャビ：4個 調理キャビ：4個						
	化粧キャップ	—	—	—	—	—	シンクキャビ：4個 コンロキャビ：4個 調理キャビ：4個						
スリム マルチ 収納タイプ	L 金具 25×25	—	—	—	—	—	シンクキャビ：2個 コンロキャビ：2個 調理キャビ：2個						
	キャビネット固定ネジ	コーススレッドφ3.8×38 トラスタッピンネジφ3.5×16 コーススレッドφ4.2×65	—	—	—	—	シンクキャビ：コーススレッドφ3.8×28：2本、トラスタッピンネジφ3.5×16：4本、コーススレッドφ4.2×6.5：2本 コンロキャビ：コーススレッドφ3.8×28：2本、トラスタッピンネジφ3.5×16：4本 調理キャビ：コーススレッドφ3.8×28：2本、トラスタッピンネジφ3.5×16：4本						
	連結ワッシャー	—	—	—	—	—	シンクキャビ：2個						
	コマ（木）	18×40-100	—	—	—	—	シンクキャビ：2個						

5. 取付・設置手順

<取付・設置手順>

1. 設置前の準備と確認 ----- P 6～7

2. 商品の設置手順 ----- P 7～16

3. ダンパーの取外し方法・取付方法 ----- P 16

4. 扉・引出しの調整方法 ----- P 17～21

5. どこでもパレットについて ----- P 22～25

6. 機器類の設置・ガス・水道・電気工事 ----- P 26

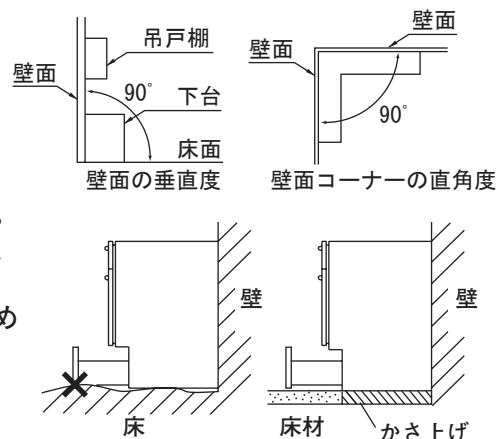
- | | |
|--------|----------------------------------|
| 仕上げ | (1) ワークトップと壁面間のシール ----- P 26～28 |
| | (2) 清掃 |
| | (3) コーキング塗布場所について |
| 点検 | (4) 洗剤カゴ、まな板スタンドの取付 |
| | (1) 安全点検 |
| | (2) 組込機器の試運転 |
| 完成後の処置 | (1) 商品の養生について |
| | (2) 取扱説明書の保管・引き渡し方法 |
| 残材処理 | (1) 梱包材その他残材の処置 |

5. 取付・設置手順（続き）

1. 設置前の準備と確認

(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認

- 製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- 床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- 壁面コーナー部は直角に仕上げてください。
- 床面は製品の荷重に耐えられ、水平で平滑に仕上げてください。
- フットスペース収納タイプは引出しが床面近くにありますが、床面は水平で平滑に仕上げ、不陸には十分注意してください。
また、キャビネット設置後に床仕上げを行う場合は、あらかじめ床材の厚み分キャビネットをかさ上げして設置してください。



⚠ 注意

- 設置する床面の木クズ、ゴミは取り除く。

床面が水平でなかったり異物があると、扉の段違いを生ずるおそれがあります。

- 製品は、水平で平滑な床面壁面にしっかりと固定する。

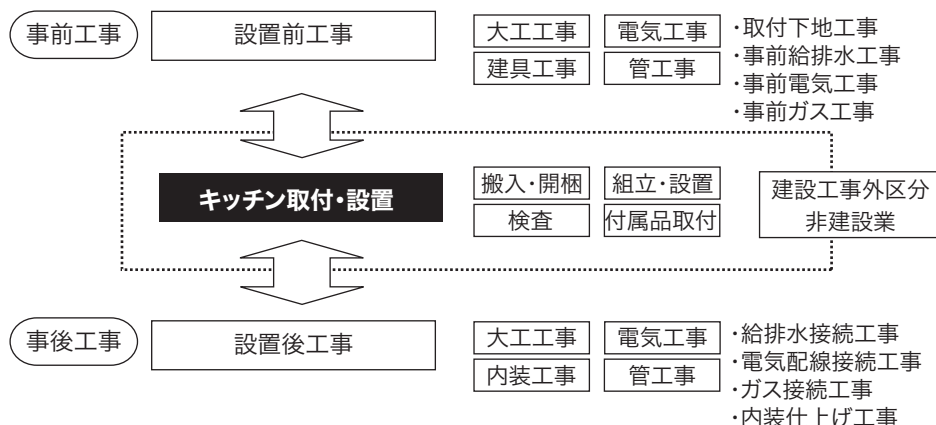
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。
また、扉の段違いや引出しの不ぞろいを生ずるおそれがあります。

工事区分

⚠ 警告

- ◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。

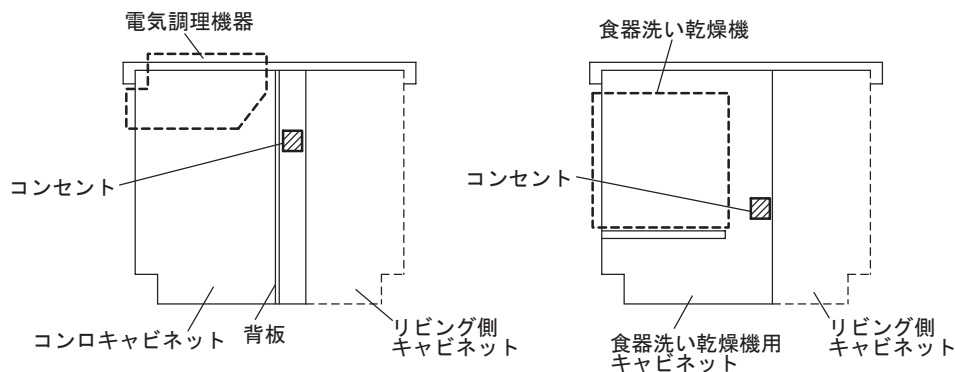
■ システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



5. 取付・設置手順（続き）

（2）給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口の確認

- 給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口位置は別途取付・設置図を参照して、建て屋工事の段取りに合わせて工事依頼してください。
- 対面型のプランはコンセントを取付ける壁面がありませんので、図のようにキャビネットの側板にコンセントを取付けてください。取付けの高さはキッチン取付・設置図に準じてください。



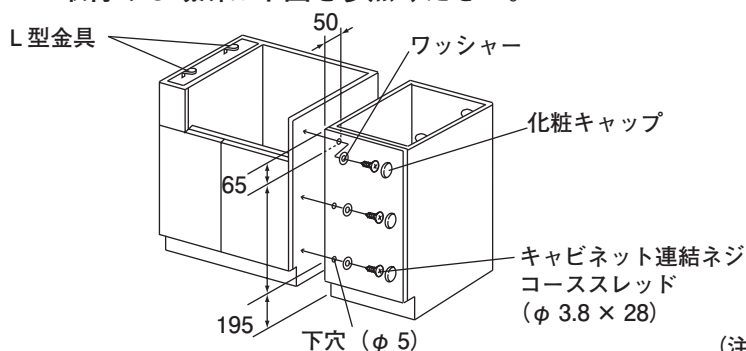
2. 商品の設置手順

（1）キャビネットの配置

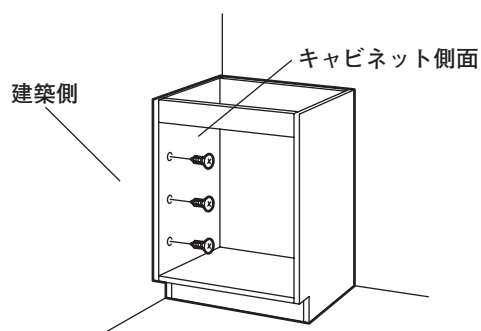
- ① 設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。
L型配置の場合は壁面コーナー側から並べます。壁面コーナー部にコーナー用カウンターユニットが有る場合はコーナー用カウンターユニットを始めに並べてください。
- ② ビルトイン食器洗い乾燥機・乾燥機・オーブン等有る場合はそれらの設置寸法を空けてキャビネットを並べます。
- ③ 水平器を使用してキャビネットの水平が出ているか確認してください。
水平が出ていない場合はキャビネットと床の間に付属のスペーサー等を入れて水平を出します。

（2）キャビネットの取付け

- ① キャビネット側板に下穴を3ヶ所あけ、キャビネット連結ネジ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）にワッシャーを通して隣のキャビネットと固定します。固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けます。
取付ける場所は下図を参照ください。



- (注) 製品の間口及びレイアウトにより連結ネジ位置及び本数は異なります。
- (注) 連結ビス高さ位置は、周辺部品に干渉しない位置で固定してください。

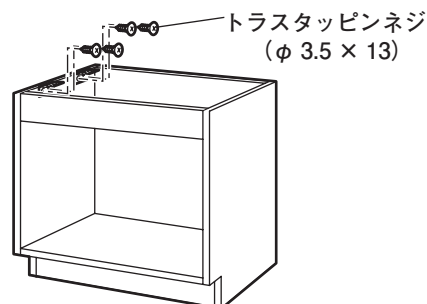


- (注) キャビネット側面と建築側との間にすき間がある場合は、スペーサーをはさみ、すき間を無くしてから固定してください。すき間があるとキャビネット側面が外れる場合があります。

5. 取付・設置手順（続き）

（2）キャビネットの取付け（続き）

- ① 間口 900、750 のシンクキャビネットの場合は、ワークトップ設置前にキャビネットに付属されている L 形金具を図の位置に取り付けて下さい。コンロキャビネットの反対側につけます。

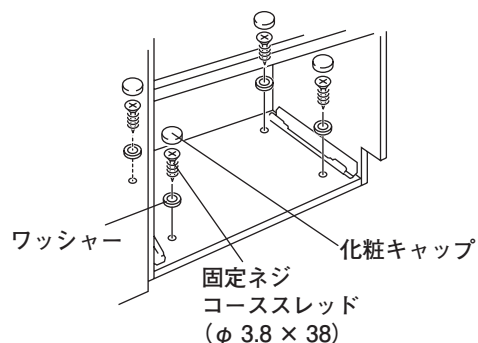


② キャビネットの固定

●スライド収納タイプの場合

- 1) 引出しを取り外します。

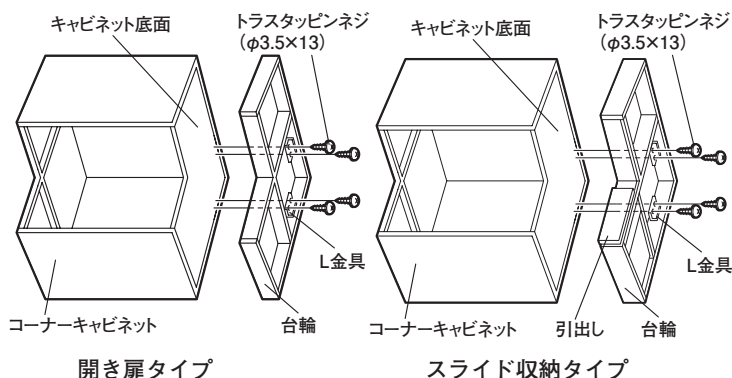
取り外し方は⑬ページ（5）、（7）引出しの取外し方法を参照ください。



- 2) キャビネットの転倒防止のため、キャビネット底板の下穴に付属のキャビネット固定ネジにワッシャーを通して床面へ向かって固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。

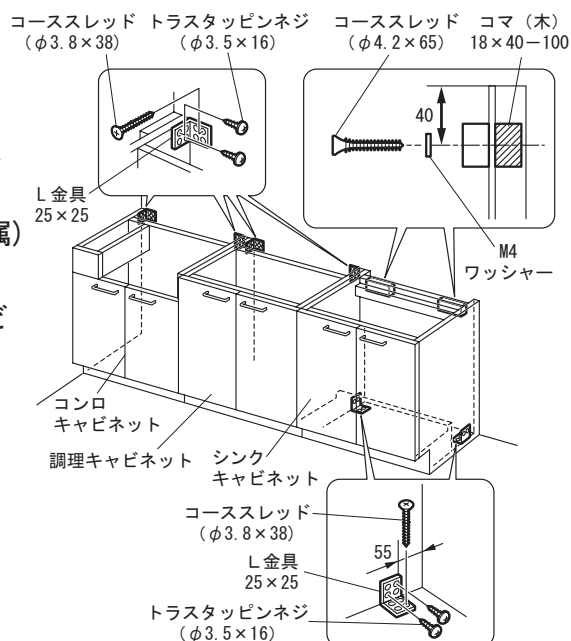
- 3) コーナーキャビネットを設置する場合は、キャビネットに台輪を取付けてから設置してください。

スライド収納タイプの台輪には引出しが付いています。引出しを取り外してから設置してください。取り外し方は⑬ページ（5）、（7）引出しの取外し方法を参照ください。



● 開き扉タイプ壁付レイアウトの場合

- 1) 配管カバーをシンクキャビネットから取り外します。外し方は、⑬ページ（6）排水ホースの取付け①を参照ください。
- 2) シンクキャビネットを L 金具 25 × 25（シンクキャビネット付属）を使って床面に固定してください。
- 3) シンクキャビネットをコマ（木）18 × 40 - 100（シンクキャビネットに付属）を使って、壁面に固定してください。
- 4) コンロキャビネット及び調理キャビネットを L 金具 25 × 25（コンロキャビネット、調理キャビネットに付属）を使って壁面に固定してください。

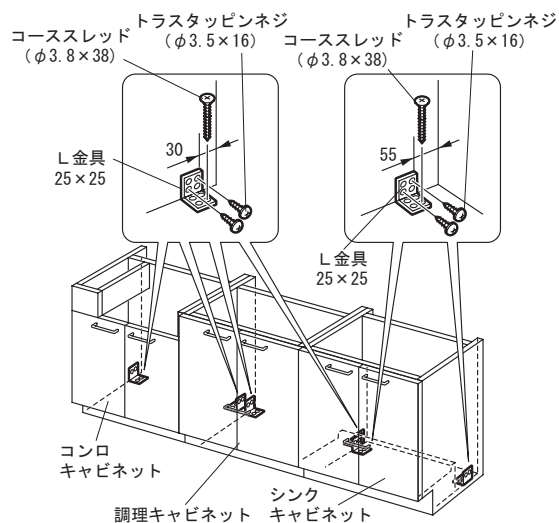


5. 取付・設置手順（続き）

（2）キャビネットの取付け（続き）

● 開き扉タイプ対面レイアウトの場合

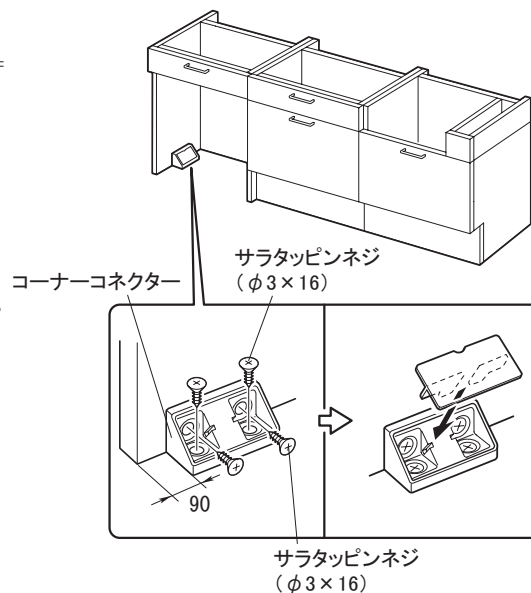
- 1) 配管カバーをシンクキャビネットから取り外します。
外し方は、⑬ページ（6）排水ホースの取付け①を参照ください。
- 2) シンクキャビネットをL金具 25×25（シンクキャビネットに付属）を使って床面に固定してください。
- 3) コンロキャビネット及び調理キャビネットをL金具 25×25（コンロキャビネット、調理キャビネットに付属）を使って床面に固定してください。



● ニースペースシンクキャビネットの隣に壁またはキャビネットが隣接しない場合

- 1) 側板内側手前部分（ケコミ付近）を部品袋のコーナーコネクターで固定してください。
- 2) コーナーコネクターを固定したら、付属のキャップを被せてください。

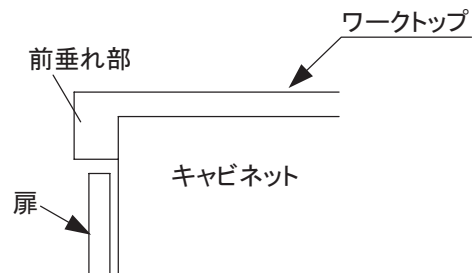
※ コーナーコネクターと取付用ネジは、取扱説明書と一緒にシンクキャビネットに同梱しています。



5. 取付・設置手順（続き）

（3）ワークトップの取付け

- ① シンク側のワークトップの前垂れ部がキャビネットにのらないように注意して上からかぶせるように設置します。
- ② コンロ側のワークトップをのせシンク側及びコンロ側ワークトップを前後左右に動かしてL型接合部や各部の納まりを調整します。（L型トップの場合）



⚠ 警 告

- ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱う時は、必ず保護手袋をする。

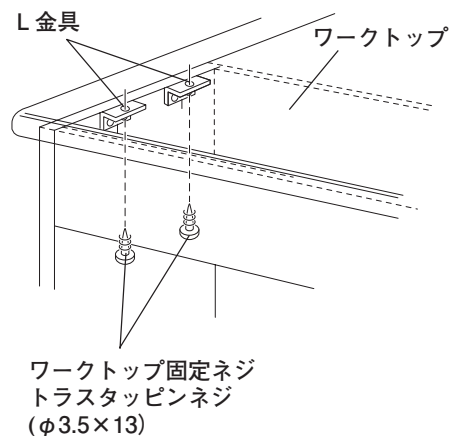
切断面にさわると、けがをするおそれがあります。



- ③ L型コーナー部の接続をします。接合方法はワークトップに同梱されている説明書を参照してください。（L型トップの場合）

回転トレー付キャビネットの場合は、回転トレーを取外してからトップ固定及び人造大理石製トップL型接続をしてください。（⑪ページ参照）

- ④ シンク側のワークトップをキャビネット側板に取付けてあるL金具のネジ穴よりワークトップに向かって付属のワークトップ固定ネジで固定してください。次にコンロ側のワークトップをキャビネット側板に取付けてあるL金具のネジ穴よりワークトップに向かって付属のワークトップ固定ネジで固定してください。（I型・L型トップ）



⚠ 注 意

- 固定ネジは必ず指定のネジを使用する。

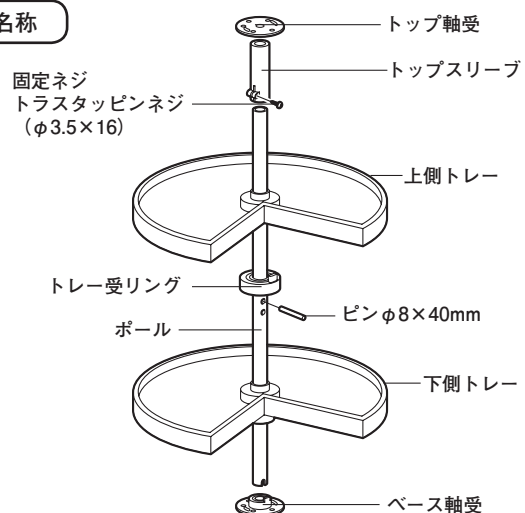
ネジが貫通して、ワークトップにキズ・割れが出ます。



（4）回転トレー付コーナー用キャビネットの取付け

回転トレーを取外してからトップ固定及び人造大理石製トップL型接続をしてください。

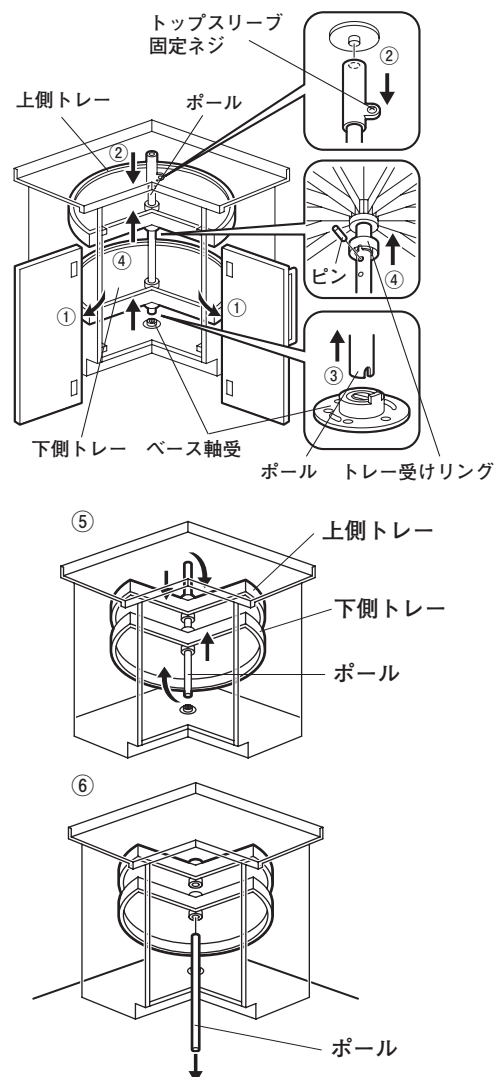
各部の名称



5. 取付・設置手順（続き）

（4）回転トレー付コーナー用キャビネットの取付け（続き）

- ① 扉をキャビネットから取外します。
 - ② トップスリーブ固定ネジをゆるめてトップスリーブを下方向へ下げて、ポールをトップ軸受より外します。
 - ③ ポールを上方向に引き上げてベース軸受より外します。
 - ④ 上側トレーを少し持ち上げてさらにトレー受リングを持ち上げピンを外します。
 - ⑤ 下側及び上側のトレーをポール中央部付近へ移動し、ポール上部をキャビネット奥方向に傾けトップスリーブを引き抜きます。
 - ⑥ ポールを手元に抜きながら2枚のトレーを外します。
 - ⑦ この際キャビネット底板及び床面を傷付けないように作業して下さい。
- (注) ポール端部に触れないでください。手を切ったりけがをすることがあります。
- ⑧ 2.（3）ワークトップの取付け（⑩ページ）に従ってワークトップをキャビネット連結及び人造大理石トップのL型接続をします。
 - ⑨ 回転トレーを取外した順番と逆の順番で取付けます。



（5）排水ストレーナーの取付け

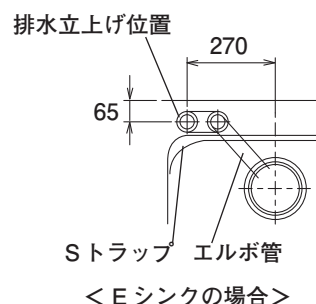
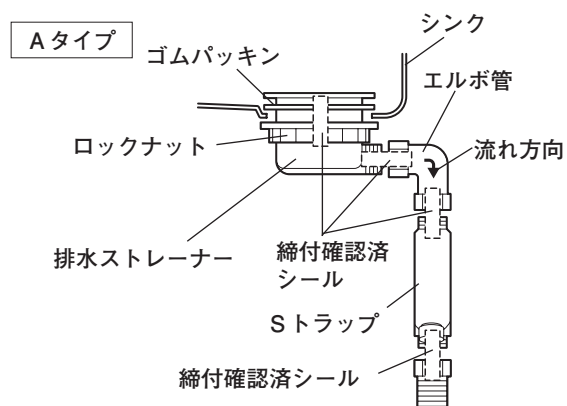
Aタイプ

シンク排水口穴に排水ストレーナーを、エルボ管が背面になるように取付け、エルボ管を接続し締め付け工具でロックナットを締め付けてください。



(注) 締め付け工具は製品に含まれていません。別途ご用意ください。

Eシンクの場合はエルボ管が図のように斜めになるように取り付けてください。



5. 取付・設置手順（続き）

（5）排水ストレーナーの取付け（続き）

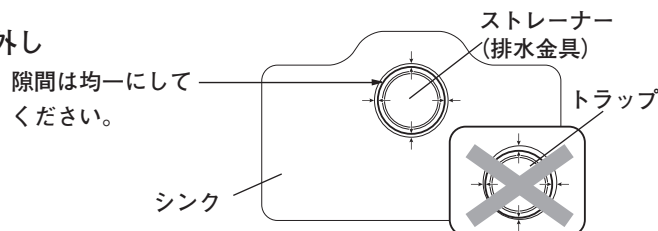
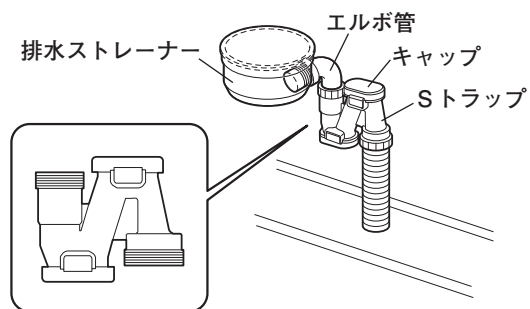
エルボ管を排水ストレーナー本体に接続する時は
トラップ本体に底つきするまで差し込んでください。

Sトラップがキャビネット背板と平行になるように取
付けてください。

取付け完了後、締付確認済シール（排水ストレーナー
に付属）を4枚貼りつけてください。

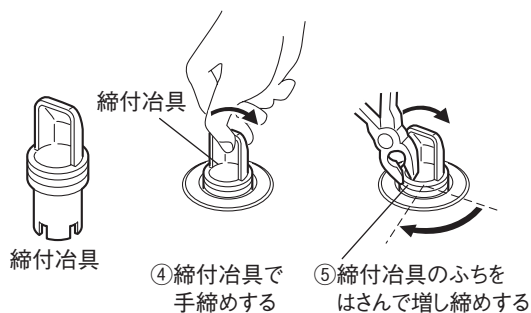
（注）①ゴムパッキンはシンク内に位置するように
取付けてください。

②Sトラップ本体のキャップはゆるめたり、外し
たりしないでください。



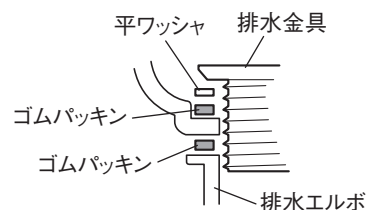
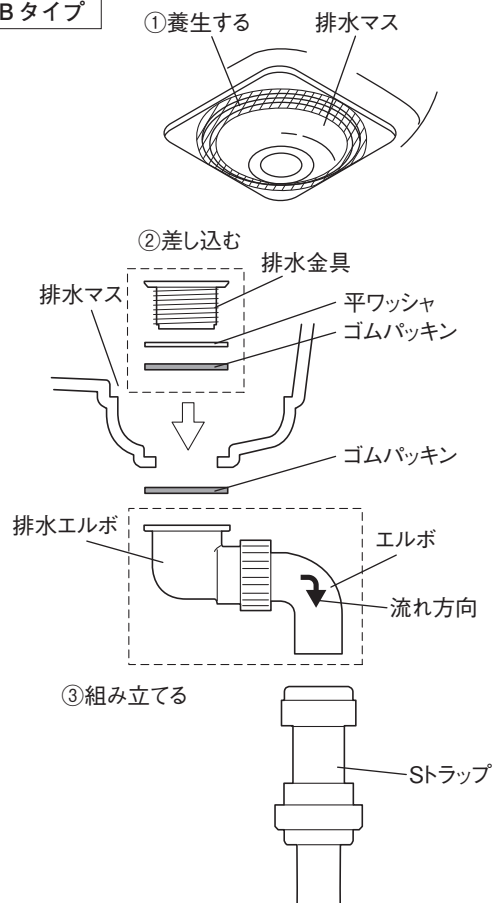
Bタイプ

- ① ペンチで傷つけないように排水マスの縁を養生テープ
で養生してください。
- ② 排水口の上から（排水金具、平ワッシャ、ゴムパッキン）
を差し込んでください。
- ③ 排水エルボとエルボを組み立ててください。
- ④ 排水口の下に（ゴムパッキン、排水エルボ）をあてがい、
排水金具を締付治具で手締めしてください。
- ⑤ ペンチで締付治具をはさんで1/4回転増し締めしてく
ださい。



（注）ゴムパッキンは排水金具側と排水エルボ側に
シンクをはさむように取付けてください。

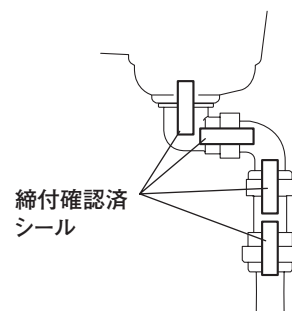
Bタイプ



5. 取付・設置手順（続き）

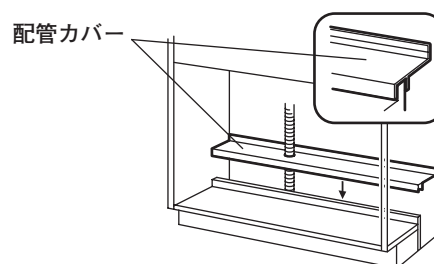
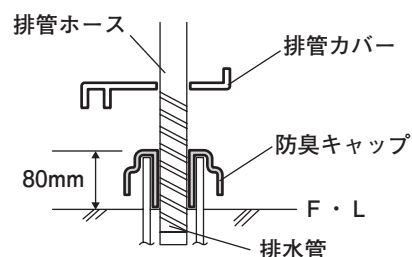
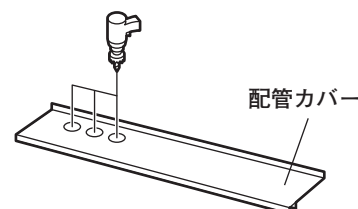
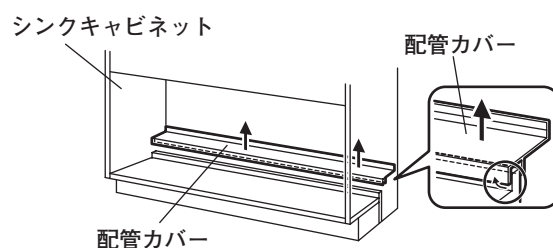
（5）排水ストレーナーの取付け（続き）

- ⑥ Sトラップ他の排水部品を取付け完了後、締付確認済シール（排水ストレーナーに付属）を4枚貼りつけてください。



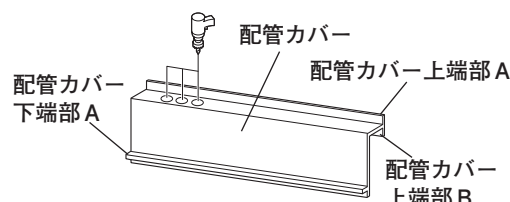
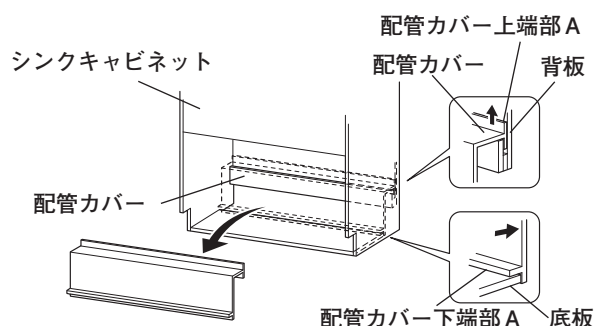
（6）排水ホースの取付け（開き扉タイプ）

- ① 配管カバーをシンクキャビネットから取り外します。
- ② 配管カバーに排水ホース用の穴（φ 40）を開けてください。給水、給湯管が床立上げの場合は給水、給湯用の穴を開けてください。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。
- ③ 排水ホースに配管カバー、防臭キャップを通し、床面より立ち上げられている排水管に挿入してください。
- ④ 排水管との接続部に防臭キャップを確実にはめ込んでください。
- ⑤ 配管カバーを元の位置に取付けます。



（7）排水ホースの取付け（スライド収納タイプ）

- ① 配管カバー下端部Aを奥へ押し込んでシンクキャビネット底板から外して上端部Aを持ち上げてシンクキャビネットから取り外します。
- ② 配管カバーに排水ホース用の穴（φ 40）を開けてください。給水、給湯管が床立上げの場合は給水、給湯用の穴を開けてください。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。

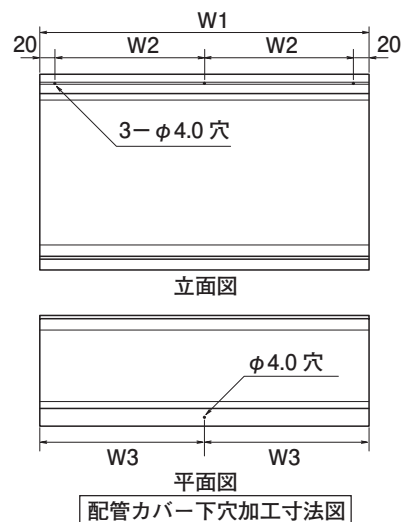


5. 取付・設置手順（続き）

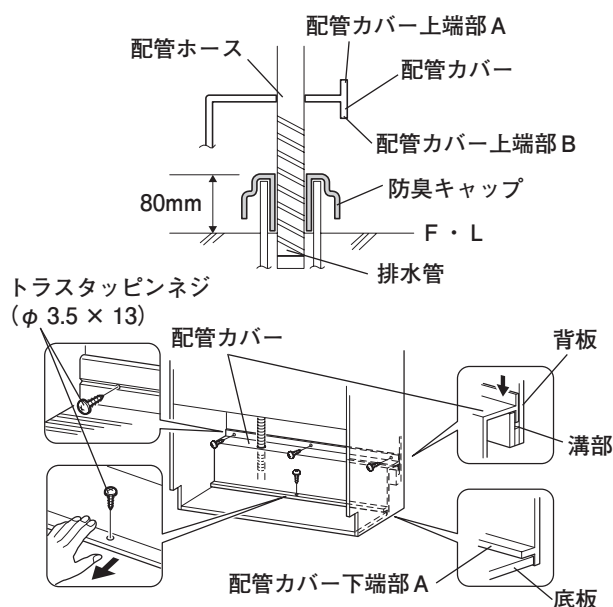
（7）排水ホースの取付け（スライド収納タイプ）（続き）

- ③ 配管カバーに配管カバー固定用の穴（φ 4.0）を開けてください。穴開け位置は、下穴加工寸法図を参照してください。上端部側の下穴位置が、排水ホース、給水、給湯管立ち上げ位置と重なる場合は、重ならない位置へずらしてください。

	W1	W2	W3
間口 900 用	868	414	434
間口 750 用	718	339	359



- ④ 排水ホースに配管カバー、防臭キャップを通し、床面より立ち上げられている排水管に挿入してください。
- ⑤ 排水管との接続部に防臭キャップを確実にはめ込んでください。
- ⑥ 配管カバー下端部 A を底板に載せ、底板側（手前方向）へ引きよせながら、③で開けた下穴を使用してワークトップ同梱の固定ネジ（φ 3.5 × 13）で底板に固定してください。
ネジ取付時は、長めのドライバーを使用して、斜めにならないように締め付けてください。
- ⑦ 配管カバー上端部 B を、シンクキャビネット背板の溝部に差し込んでください。
- ⑧ 配管カバー上端部 A を③で開けた下穴を使用して、ワークトップ同梱の固定ネジ（φ 3.5 × 13）でキャビネット背板に固定してください。（3ヶ所）



⚠ 注 意

- 排水管の立上げ位置は、別途取付・設置図により位置決めを行う。
接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれるおそれがあります。
- 排水管の接続後、排水フタを袋に入れたままの状態排水口に設置し、シンクに水を溜めて各接続部より水漏れのないことを確認する。
水漏れにより床が腐る恐れがあります。
- 配管カバーをネジ固定する際に、電動ドライバーを使用する場合は、ネジを締めすぎないでください。
ネジが空回りしてしまったり、背板や底板を破損するおそれがあります。

お 願 い

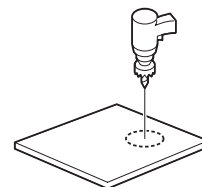
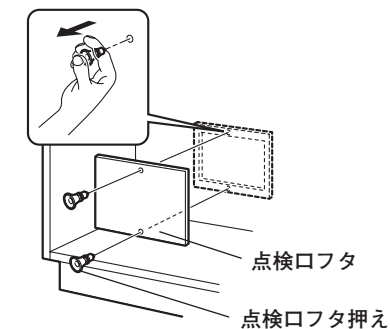
- 水漏れ確認後は、必ず乾いた布で水分をよく拭きとってください。
水アカやさびの原因になります。

5. 取付・設置手順（続き）

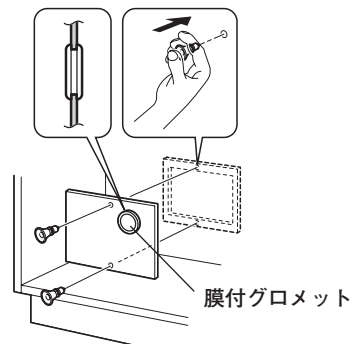
（8）ガス管の取出し穴開け

ガスコンロ仕様の場合にはコンロキャビネット背面にガス管取出し用穴開けを行います。

- ① コンロキャビネット背面の点検口フタを取外します。上下部の点検口フタ押えを引き抜き、点検口フタを取り外してください。
- ② 取外した点検口フタに穴を（ $\phi 75$ ）開けます。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。



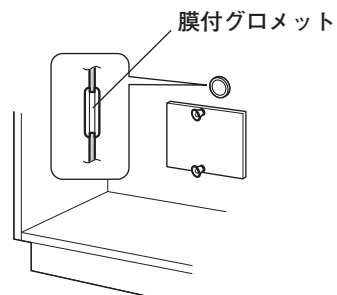
- ③ 穴開けした部分にコンロキャビネットに同梱の膜付グロメットを取り付け元の位置に取付け、点検口フタの取付穴とコンロキャビネット背面の取付け穴位置をあわせて、点検口フタ押えを上下2ヶ所に押し込んで取り付けてください。取り付けた後、点検口フタが外れないことを確認してください。



（9）電気コンロコンセント用穴開け

電気（IH）コンロ仕様の場合にはガスキャビネット背面にコンセント貫通用の穴開けを行います。

- ① キッチン取付・設置図を参照してキャビネット背面に穴（ $\phi 75$ ）を開けます。
- ② 穴開けした部分に付属の膜付きグロメットを取付けます。

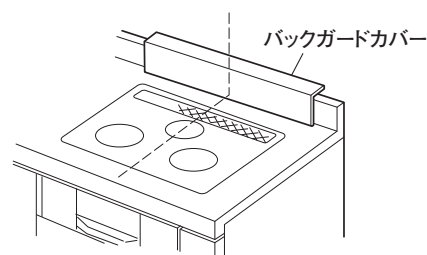
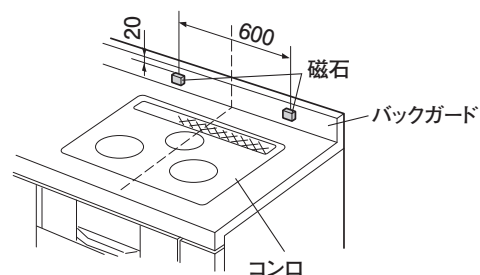


5. 取付・設置手順（続き）

(10) バックガードカバーの取付け

奥行 60cm の人造大理石ワークトップの場合はワークトップのバックガードにバックガードカバーを取り付けてください。

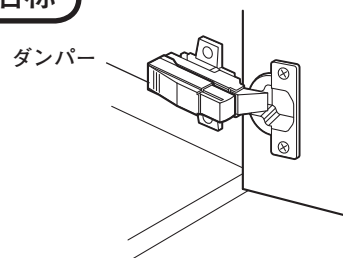
- ① 右図の位置に付属の磁石を剥離紙をはがして接着してください。
(磁石を接着する前に、バックガードの汚れをよく拭き取ってください)
- ② バックガードカバーの中心をコンロの中心に合わせて取り付けてください。



3. ダンパーの取外し方法・取付方法 (オプション設定)

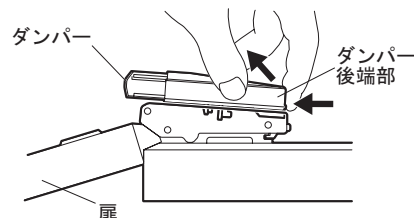
- 右図のようなダンパーは取付・取外しができます。
扉の調整をする場合は、ダンパーを外してから、扉の調整を行ってください。

各部の名称



ダンパーの取外し方

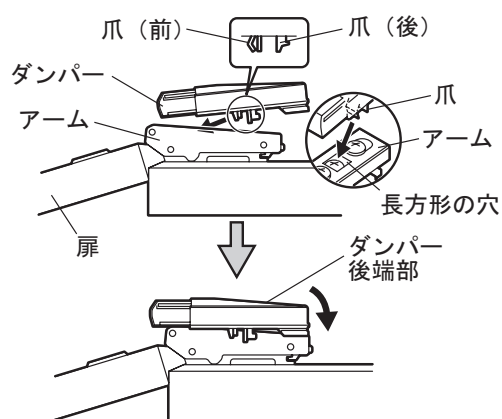
ダンパー後端部を上を持ち上げながら扉側に引いて取り外してください。



ダンパーの取付け方

- ① ダンパー下部の爪（前）をアームの長方形の穴に当て、手扉側に少し押してください。
- ② ダンパー後端部の爪（後）が長方形の穴に入るようにカチッと音がするまで上から押し込んでください。
- ③ 簡単に外れたりしないことを確認してください。

※扉の調整をする際は、ダンパーを取外してください。
扉の調整方法については、製品の取扱い説明書に従ってください。



⚠ 注意

- ダンパーの取外し、取付けを行う時は必ず保護手袋を使用する。

けがをするおそれがあります。



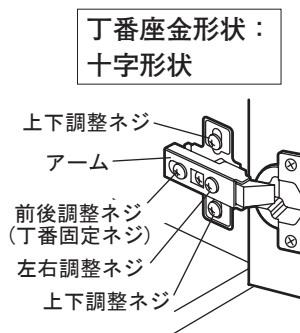
5. 取付・設置手順（続き）

4. 扉・引出しの調整方法

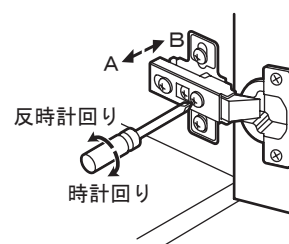
各部の名称

(1) 扉の調整方法

- ① ダンパー付きの場合は、ダンパーを外してから扉の調整を行ってください。
(19ページ参照)



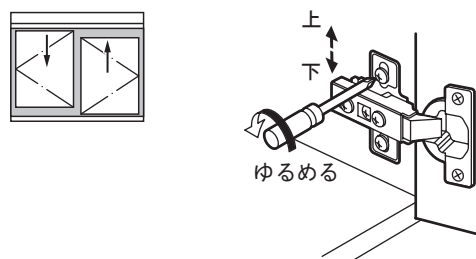
- ② 左右傾きの調整をする場合 (図-1)
左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
※調整は必ず±2mmまでとしてください。



(図-1)

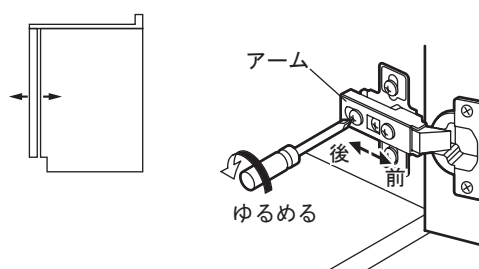
- ③ 上下の調整をする場合 (図-2)
上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かし扉の調整をします。
調整後はネジをしっかりと締めつけてください。

(丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ネジをゆるめて扉を調整してください。)



(図-2)

- ④ 前後の調整をする場合 (図-3)
前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かし扉の調整をします。
調整後はネジをしっかりと締めつけてください。



(図-3)

- ⑤ ダンパー付きの場合は、ダンパーを取付けてください。
(16ページ参照)

⚠ 注意

- 全ての調整完了後は、上下調整ネジ、前後調整ネジをしっかりと締めつける。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。



- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

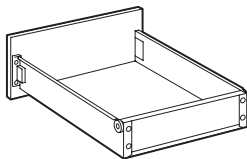
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



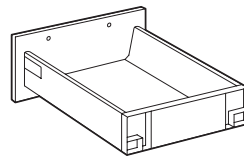
5. 取付・設置手順（続き）

引出し前板の調整は、各タイプの調整方法にしたがって調整を行ってください。

引出しのタイプ



Aタイプ



Bタイプ

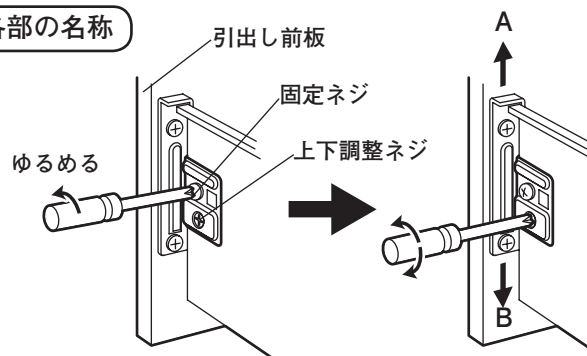
(2) 引出し前板の調整方法（Aタイプ）

上下調整をする場合

- ① 固定ネジをゆるめます。
- ② 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
- ③ 調整後は固定ネジをしっかりと締め付けてください。

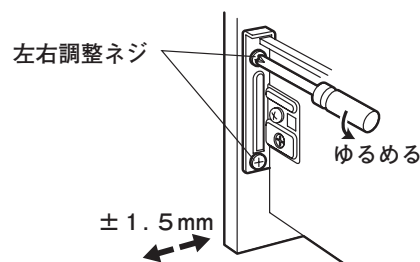
※上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。

各部の名称



左右調整をする場合

- ① 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板左右に調整してください。
- ② 調整後は、左右調整ネジをしっかりと締め付けてください。

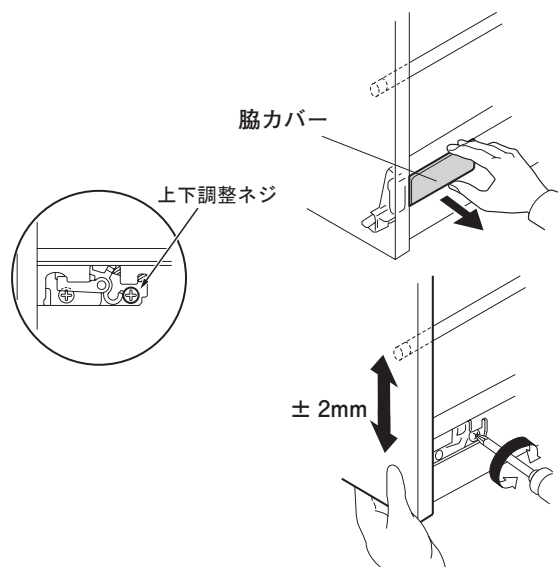


(3) 引出し前板の調整方法（Bタイプ）

① 上下調整をする場合

- 1) 脇力バーを取り外してください。
外す際は図のように、脇力バーの上下をつまんで矢印の方向に引っばって外してください。
- 2) プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。

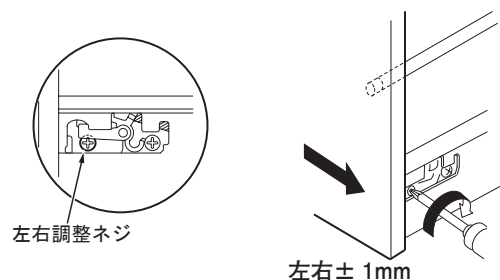
※上下調整ネジは一方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。



② 左右調整をする場合

- 1) 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。
- 2) 必ず左右両側の調整を行ってください。
- 3) 調整後は、脇力バーを取付けてください。

※ 回しすぎるとネジ（樹脂部材）が痛みますので注意してください。

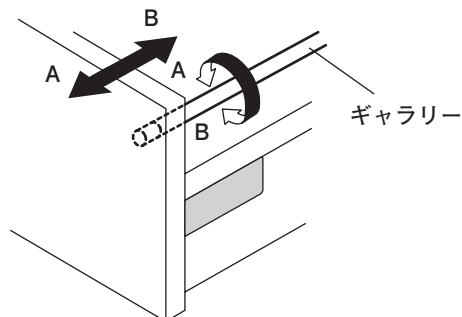


5. 取付・設置手順（続き）

（4）ギャラリー付引出し前板の調整方法（A・B タイプ）

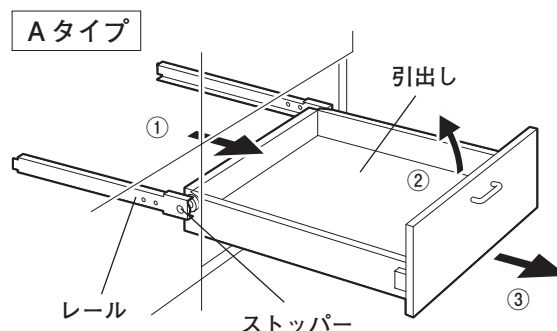
前後調整をする場合

ギャラリーを回すと、前板を前後に調整できます。



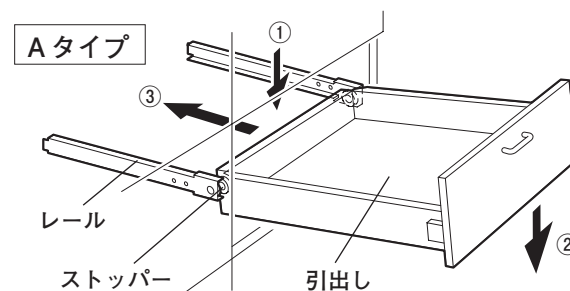
（5）引出しの取外し方法（A タイプ）

- ① 引出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ② ストッパーに当たりましたら、引出しを上を持ち上げます。
- ③ 引出しを手前に引き出します。



（6）引出しの取付け方法（A タイプ）

- ① 引出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。
ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ② ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
- ③ 水平に押し込みます。



⚠ 注 意

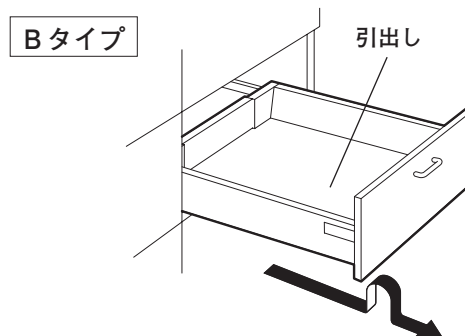
- 取り外す際には引出し内の収納物をすべて出し、必ず引出しに両手を添えて取り外す。

引出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



（7）引出しの取外し方法（B タイプ）

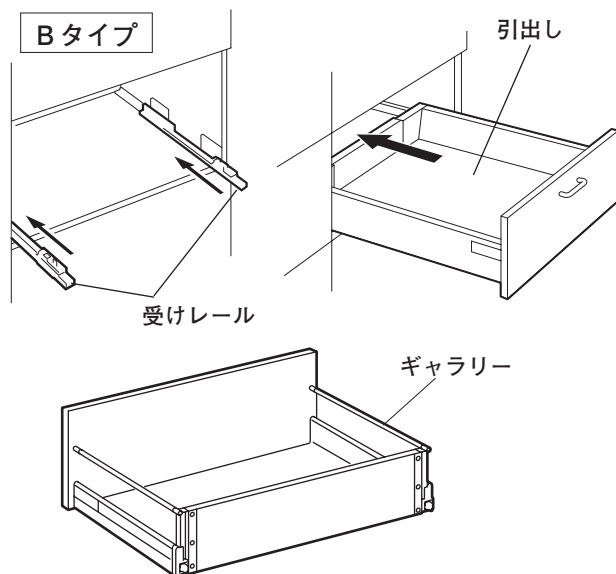
- ① 引出しをいっぱいまで引いてください。
- ② 少し上に持ち上げて引いて取り外してください。



5. 取付・設置手順（続き）

（8）引出しの取付け方法（Bタイプ）

- ① 受けレールを奥まで入れてください。
- ② 引出しを受けレールに乗せてください。
- ③ カチャと音がするまで引出しを押し込んでください。



ギャラリー付引出し取外し、取付けをする際には、ギャラリーを持たないでください。

⚠ 注 意

- ギャラリーを持たない。

ギャラリーが外れて引出しが落下し、けがをするおそれがあります。



- 引出し底板の上に工具類を置かない。

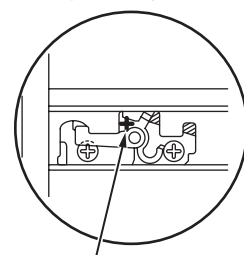
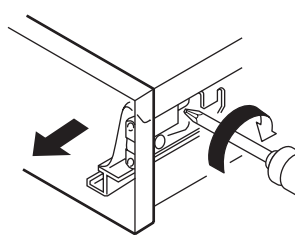
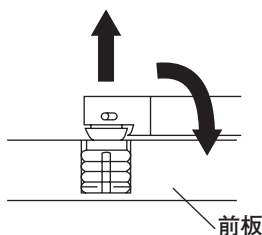
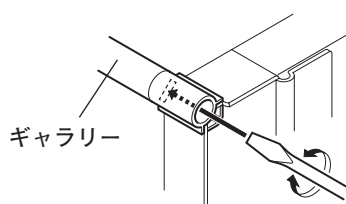
引出し底板（ステンレス底板）に傷がつくおそれがあります。



（9）引出し前板の取外しと取付け方法（Bタイプ）

① 引出し前板の取外し方

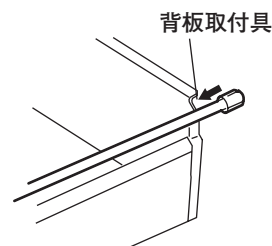
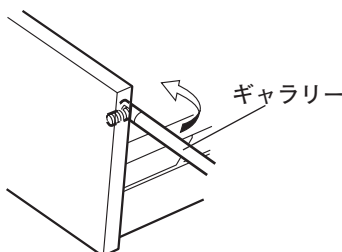
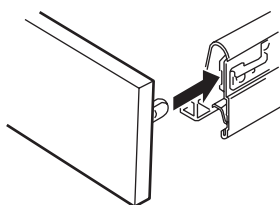
- 1) ギャラリーの背板側にマイナスドライバーを差込み、回して取り外してください。
- 2) 前板はギャラリーを倒して、ダボを抜いてください。
- 3) 前板取外しネジ穴へプラスドライバーを差込み、矢印の方向に回して引出しを取り外してください。



前板取外しネジ穴

② 引出し前板の取付け方

- 1) 前板取付金具を引出し側部に押し込んでください。
- 2) ギャラリー先端ダボを前板下穴に入れて、ギャラリーを起こしてください。
- 3) 背板取付具にギャラリーを押し当て、取付けてください。



5. 取付・設置手順（続き）

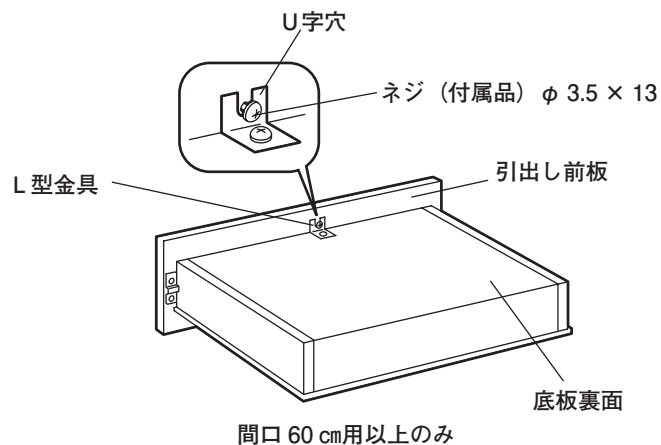
(10) 引出し前板と引出しの固定

引出し前板の調整後に引出し底板に取付てある
L型金具を付属ネジにて引出し前板に固定します。

⚠ 注 意

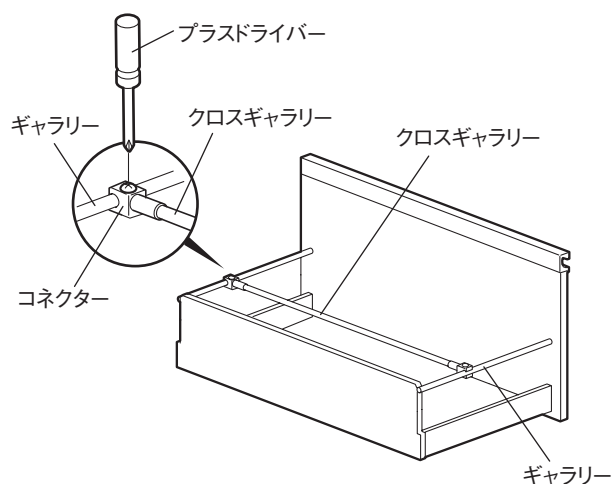
- 必ず固定する。

引出し底板が反って引出しが開閉
しなくなる場合があります。



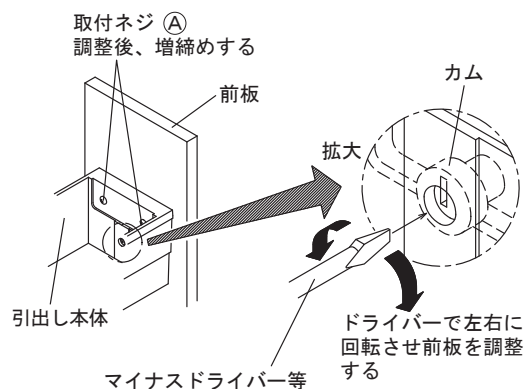
(11) クロスギャラリーの調整方法

- ① クロスギャラリーの両側にあるコネクタのネジを、プラスドライバーで緩めます。
- ② 引出しのギャラリーに、コネクタを取り付け収納物に合わせて位置を調整します。
- ③ コネクタのネジを、プラスドライバーで締めて、クロスギャラリーが動かないことを確認してください。



(12) コンロ脇小引出し前板の調整方法

- ① 前板を片手で押さえながら、引出し本体と前板を締めている取付ネジ①（2ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ネジを軽く締めます。
- ② 必要な場合、引出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。
- ③ 調整が完了したら、取付ネジ①（2ヶ所）を増締めしてください。



5. 取付・設置手順（続き）

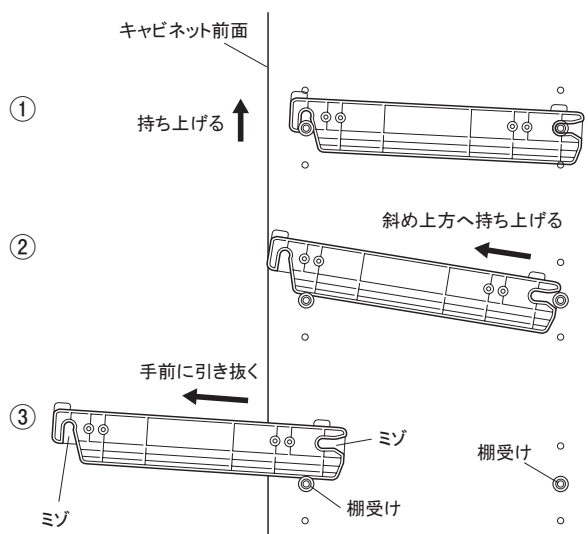
5. どこでもパレットについて

どこでもパレットの取付位置を変えるには

どこでもパレットの取付位置を変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さのみしか変えられない機種もあります。

●どこでもパレットの取り外し方法（図－1）

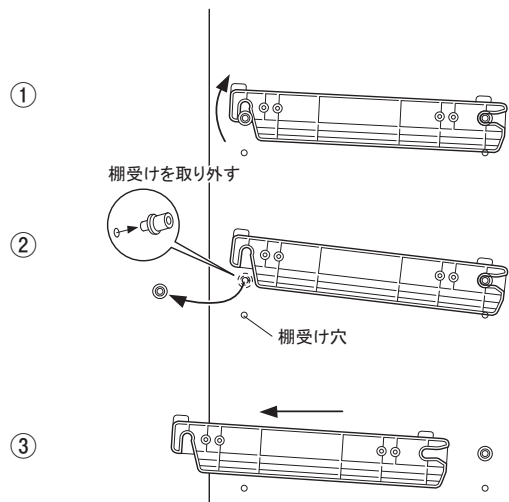
- ① どこでもパレット手前を上方向に持ち上げて、前方の溝を棚受けから外してください。
- ② どこでもパレットを手前斜め上方へ持ち上げて後方の溝を棚受けから外してください。
- ③ どこでもパレットを手前方向へ引き抜き、取り外します。



図－1

●どこでもパレットの取り外し方法・コンロ／調理用キャビネット最上段の場合（図－2）

- ① どこでもパレット手前を上方向に持ち上げて、前方の溝を棚受けから外してください。
- ② どこでもパレット手前を上方向へ持ち上げた状態で手前の棚受けを棚受け穴から取り外してください。
- ③ どこでもパレットを手前方向へ引き抜き、取り外します。



図－2

⚠ 注 意

- どこでもパレットの高さを変える際には、パレット収納部の引出しを外し、パレット上の収納物をすべて降ろしてから行うこと。

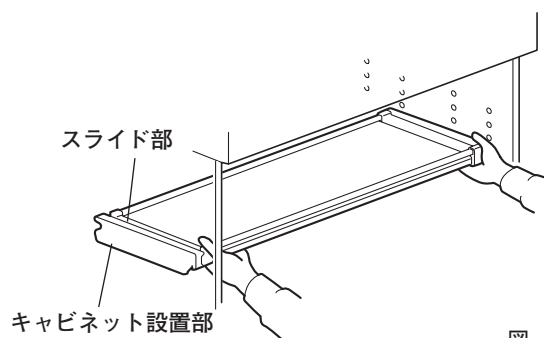
引出し部に手をぶついたり、収納物が落下してけがをするおそれがあります。



- どこでもパレットを外す際には、図－3のように手前側から両手で、スライド部とキャビネット設置部両側に手が掛かるように持つこと。

パレットがスライドしてぶつかったり、手をはさんでけがをするおそれがあります。

各部の名称⁽²⁴⁾ページを参照

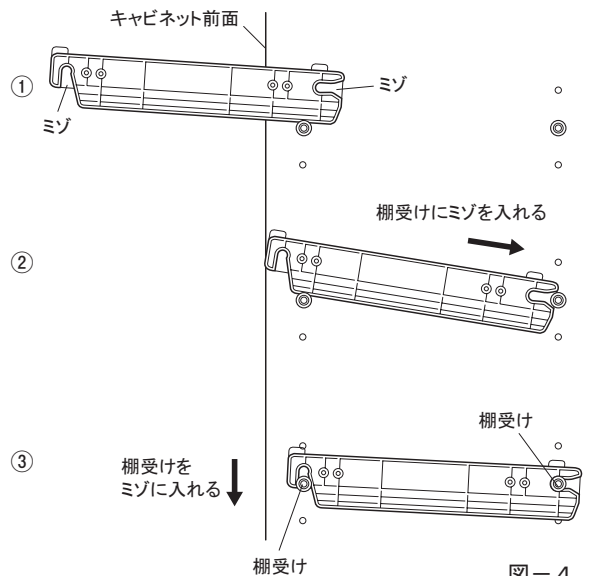


図－3

5. 取付・設置手順（続き）

●どこでもパレットの設置方法（図－4）

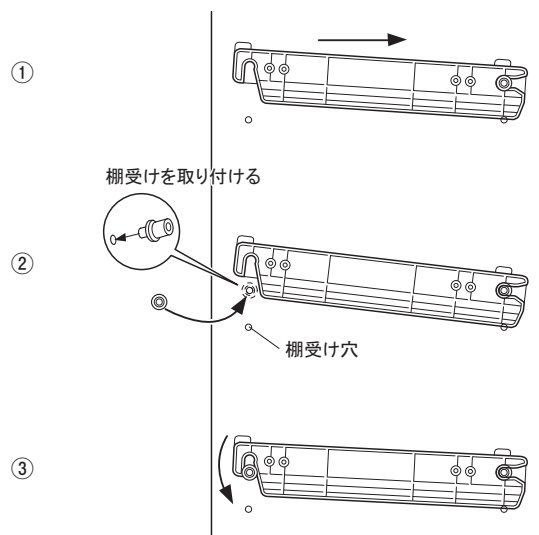
- ① 前方の棚受けにどこでもパレット後方部を乗せ、キャビネット後方に滑らせてください。
- ② どこでもパレット後方の溝に棚受けを挿入し、カチッという感覚があるまで軽く押し込んでください。
- ③ どこでもパレット前方の溝に棚受けをカチッという感覚があるまで軽く押し下げてください。



図－4

●どこでもパレット設置方法・コンロ／調理用キャビネット最上段の場合（図－5）

- ① 前方の棚受けを棚受け穴から取り外してください。後方の棚受けをどこでもパレット後方の溝に挿入し、カチッという感覚があるまで軽く押し込んでください。
- ② どこでもパレット手前を上方向に持ち上げて①で外した棚受けをキャビネットの棚受け穴に取り付けてください。
- ③ どこでもパレット前方をカチッという感覚があるまで軽く押し下げてください。

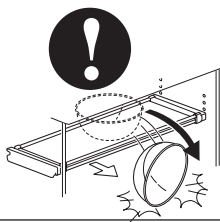


図－5

⚠ 注 意

- どこでもパレットを出し入れする際は、ゆっくり行う。

載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。



- どこでもパレットに、10kg 以上の物を載せない。
どこでもパレットに、乗ったり、もたれかかったりしない。
けがのおそれがあります。



お 願 い

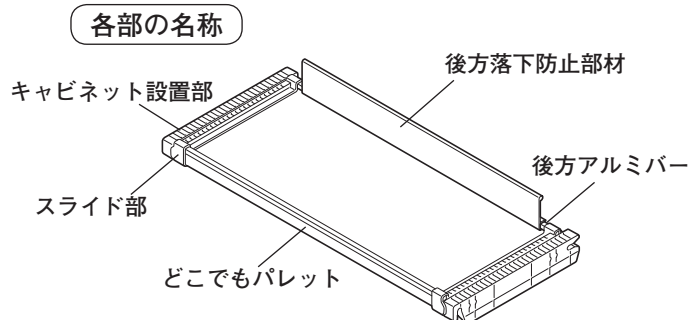
- ハーマン製のガスコンロを設置している場合は、コンロ用キャビネットでは使用しないでください。

収納物とガスの配管が干渉し、ガス漏れを起こすおそれがあります。



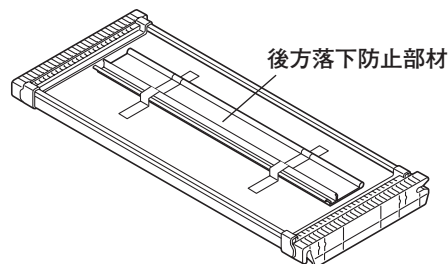
5. 取付・設置手順（続き）

どこでもパレット後方落下防止部材について



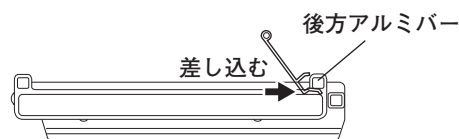
- シンク用、調理用キャビネットに付属のどこでもパレットには後方落下防止部材が同梱されています。

納品時は右図のようにパレット上面にテープ止めしてあります。テープを剥がし、以下の手順で取り付けてください。

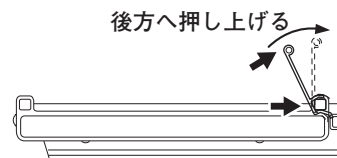


落下防止部材の取り付け方

- ① どこでもパレット前方から、落下防止部材の下端部をパレット上面と後方アルミバーの間に差し込んでください。



- ② 落下防止部材の根本をしっかりとアルミバーに押し当てながら、アルミバーを軸として回転させるようにして上端部をどこでもパレット後方へ向かって押し上げて落下防止部材を固定して下さい。



お願い

- どこでもパレットを最上段に設置する場合は、後方落下防止材は取り付けないでください。

シンク配管及び上段引出しに干渉し、部品破損や水漏れのおそれがあります。



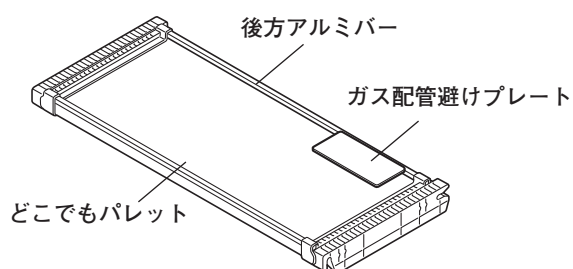
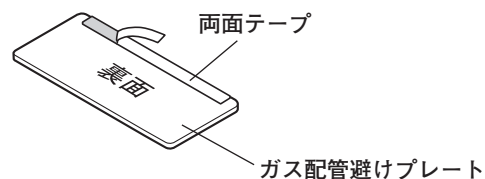
5. 取付・設置手順（続き）

ガス配管避けプレートについて

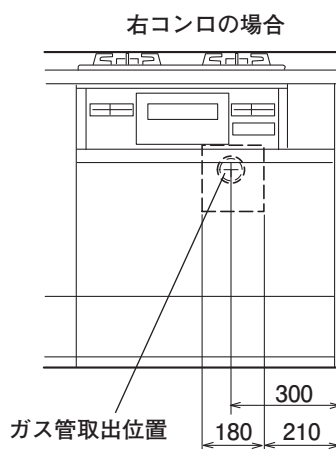
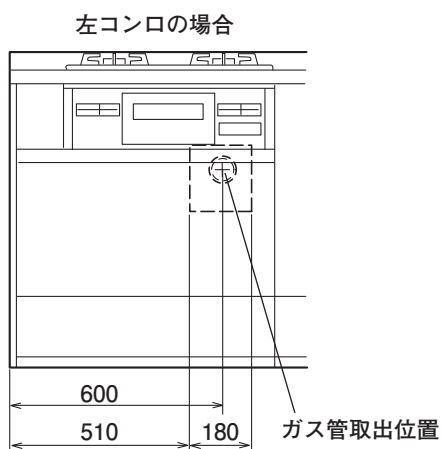
- コンロ用キャビネットに付属のどこでもパレットにはガス配管避けプレートが同梱されていますので、下記の方法にて取り付けてください。

※ プレートの取付は、ガス配管工事完了後に行ってください。

- ① ガス配管避けプレート裏面についている両面テープの剥離紙を剥がしてください。
- ② ガス栓の位置に合わせて、ガス配管避けプレートをどこでもパレットの後方のアルミバーに両面テープで貼りつけてください。



- ガス配管避けプレート取り付け参考位置（コンロキャビネット点検口位置）



5. 取付・設置手順（続き）

6. 機器類の設置、ガス・水道・電気工事

- 各機器の設置は、各々の取付・設置説明書に従って設置してください。
- ガス・水道・電気工事については、各工事の「有資格者」が工事を行ってください。

6. 仕上げ

（1）ワークトップと壁面間のシール

- ワークトップと壁面の間は、シリコンシーラー等を使用して完全にシールしてください。
- 壁とワークトップ端面の隙間が4mm以上ある時は、隙間を補填材で埋めた後シールをしてください。

（2）清掃

- シンク内のゴミや異物を取り除いてください。
- ちょっとした汚れは柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽くふいていただいた後、軽く水ぶきしてください。水ぶき後は、必ず乾いた布で水分をふきとってください。
- 保護フィルムの貼ってある扉及び化粧パネル・パーテーション・サイドパネルは、表面・小口面の保護フィルムをはがしてください。

⚠ 注 意

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



- 硫酸・塩酸系の強酸類や、その他薬品類は絶対に使用しない。

変色・変質・変形・破損等の原因になります。



- 通水後シンクの中の水滴を拭き取り、封水切れが無いか確認する。

シンク内の水垢付着や浄化槽の塩素ガス等が逆流し、錆・孔食が発生するおそれがあります。



お 願 い

- 清掃をする場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

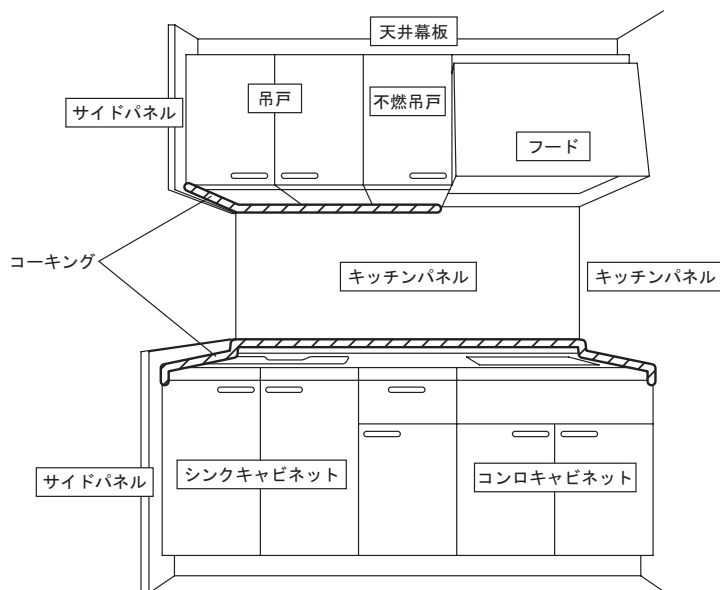
その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



6. 仕上げ（続き）

（3）コーキング塗布場所について

下図の斜線部分  は必ずコーキングしてください。



（4）洗剤カゴ、まな板スタンドの取付け

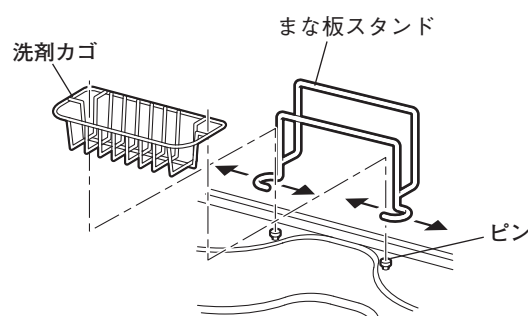
ステンレスシンクの場合

①洗剤カゴの取付け

シンク後部に取付けてあるピンに洗剤カゴを上より引掛けます。

②まな板スタンドの取付け

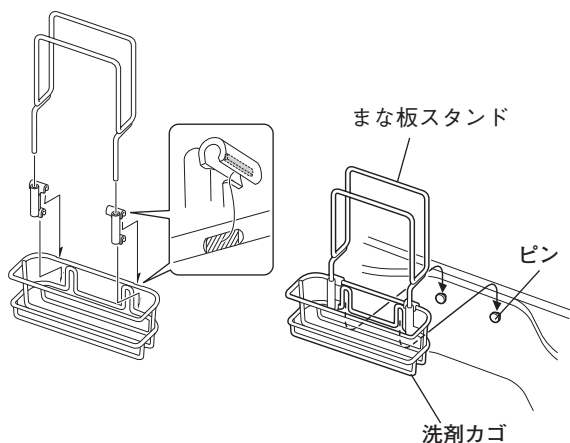
まな板スタンドのフックをシンク後部に取付けてあるピンに固定します。
（まな板スタンドのある場合のみ）



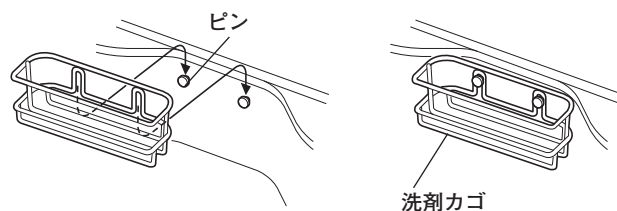
人造大理石シンクの場合

シンク後部に取付けてあるピンに洗剤カゴを上より引掛けます。

LOVEE シリーズ（I 型・L 型）



LE シリーズ・ワイドカウンター



7. 点検

(1) 安全点検

設置完了後、必ず各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。

〈点検のポイント〉

- (1) ワークトップとキャビネットはしっかり固定されていますか。
- (2) 排水ストレーナーはしっかり取付けられていますか。
- (3) 排水ホースは排水管に押入されていますか。
- (4) 防臭キャップは排水管にしっかりはめ込まれていますか。
- (5) 扉・引出し前板にがたつき・傾きはありますか。
- (6) 棚受けは根元までしっかり押し込んでありますか。

(2) 組込機器の試運転

製品に組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

8. 完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。

(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

9. 残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。